

考古学実習1ーⅢ

科目ナンバリング ARC-401
選択必修 2単位

阿部 朝衛

1. 授業の概要(ねらい)

考古学の主な研究対象は住居や墓穴などの遺構、土器や石器などの遺物である。これらの資料を記録し、活用するためにはさまざまな知識と技術が必要となる。そこで実際の資料をもとに、それら知識と技術を学ぶことを本科目の目的とする。春期では、帝京大学史学科で発掘調査した荒川台遺跡出土石器の観察・実測を行なう。その際、石器材料探索、石器製作実験も実施し、その結果と実際の遺物との比較をする。

2. 授業の到達目標

- 1.石器の形・製作技術に関する基礎的知識を身につけ、石器の観察能力を修得する。
- 2.原石の採集から石器使用にいたる先史時代人の行動を理解する。

3. 成績評価の方法および基準

授業計画の項目で作成した資料はすべてレポートとして提出し、それをもとに評価する。出席しないとレポートの作成は困難となる。

4. 教科書・参考文献

教科書
特になし
参考文献
実習室の発掘調査報告書を適宜参照

5. 準備学修の内容

博物館や遺跡などを見学し、様々な考古学資料を観察する。

6. その他履修上の注意事項

実習室からの遺物や原図、機材の持ち出しは厳禁である。

7. 授業内容

- 【第1回】 導入
(オンライン授業)
- 【第2回】 多摩川支流の 大栗川の河原で石器材料(チャート、ホルンフェルス、頁岩など)の採集
- 【第3回】 石器製作実験(大栗川の石材の他、北海道白滝の黒曜石、山形県最上川の頁岩等を加える)
- 【第4回】 石器使用実験
(オンライン授業)
- 【第5回】 石材の種類の観察
- 【第6回】 石器の観察(石核)
- 【第7回】 石器の観察(剥片)
- 【第8回】 石器の接合・観察(石核と剥片の関係の理解)
- 【第9回】 石器の接合・観察(剥離の順番の理解、製作工程の理解)
- 【第10回】 石器の実測(石器の観察、属性の抽出)
- 【第11回】 石器の実測(背面剥離面構成)
- 【第12回】 石器の実測(打面)
- 【第13回】 石器の実測(腹面)
- 【第14回】 実測した石器の位置づけを発掘調査報告書などで確認。
- 【第15回】 総括